

単元名：日韓合同チームでエントリー

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	日常生活	言語レベル	1	必要時間数	8時間

I 単元目標

短期語学研修プログラムで来日する韓国の高校生と、来日前にやりとりし、「韓国語を楽しもう大会」に日韓合同チームでエントリーする。日本滞在中に合同練習をして本番で発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる	😊	😊	😊			
できる	😊	😊	😊	😊	😊	😊
つながる	😊	😊				

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介や演目、練習日程をメールでやりとりをすることができる。 ◆出場演目や役割分担を相談して決めることができる。 ◆お互いに励ましたり、ほめたりしながらリハーサルをすることができる。 ◆必要なエントリーシートに韓国語で記入し、主催者に提出することができる。 ◆練習時間の予定表を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆お互いの生活行動を知り、情報交換をしながら時間や場所の調整をすることができる。 ◆日韓で流行っている歌やダンスの共通点・相違点に気づき、その背景を考慮することができる。 ◆簡単な懇親会を開くときに、日韓ではどんなものが準備するか(飲食物など)、その共通点・相違点に気づき、その背景を考慮することができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループ内で役割分担し、よい発表ができるよう励ましたりほめたり、積極的に声かけをして、コミュニケーション能力を高める。(協働) ◆日韓で流行っている歌やダンスを調べることができる。(情報活用) ◆ビデオカメラで撮影し、キャプションをつけて編集したり、効果的に写真やイラストを使用してポスターを作ることができる。(情報活用) ◆若者文化の世界的傾向などを理解する。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【日常生活】</p> <p>1-a.1日の生活の基本的なあいさつができる。</p> <p>1-b.1日の生活行動(何時に何をするか)について、会話できる。</p> <p>1-c.1週間の生活行動(何曜日に何をするか)について、会話できる。</p> <p>1-e.予定(いつ何をする)を、メモにして伝えることができる。</p> <p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-c.簡単な自己紹介(姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など)を、口頭でまたは書いてすることができる。</p> <p>1-e.(自分やクラスメート、先生などの)名前を、ハングルで書いたり読んだりできる。</p>
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。</p> <p>数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆1日の生活行動を円グラフにして発表する。(発音の正確さ、表現の適切さ、発表の態度) ◆1週間の行動シートに基づいてやりとりする。(情報の伝え方や引き出し方、発音や表現の分かりやすさ) ◆簡単な自己紹介と休みの日に会う誘いのメールを作成する。(わかりやすさ、表記の正しさ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆メールで自己紹介(名前や学年)、合同出場(演目、練習日程等)に関するやり取りをする。(メール文の語彙・表現の表記の正しさ、情報の適切さ、調整力) ◆エントリーシートを作成する。(表記の正確さ、表現の適切さ、情報量) ◆訪日した韓国の生徒たちとの練習日程の確認し、合同で練習に取り組む。(行動パターンの違いや共通点への気づき、寛容度、調整力) ◆リハーサル及び当日に、自分たちの取り組みと練習の成果を発表する。(協働性、積極性、独創性) ◆撮影したビデオを編集したり、ポスターを作成する。(ITの操作、適切なキャプションやナレーション、デザイン、創造力)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆生活行動に関する動詞(起きる、食べる、学校に行くなど)カードを使って、チーム対抗でジェスチャーゲームをする。【1-b】</p> <p>◆1日の生活行動を円グラフにし、何時から何時まで何をしているかを発表し、それが誰のものかあてるゲームをする。【1-b】</p> <p>◆1週間の行動シートを作成し、ペアで、何曜日どこで何をしているかを言い合い、お互いのフリーの時間をできるだけ多く探して、別のシートに記入する。【1-c,e】</p> <p>◆簡単な自己紹介と休みの日に会う誘いの簡単なメールを作成して送り合うか、プリントアウトして交換する。【1-e】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> E高校で韓国語を学習している高校生は、短期ホームステイの語学研修プログラムで日本を訪問する韓国の高校生と滞在中に「韓国語を楽しもう大会」に日韓合同チームで出場することになった。</p> <p><活動の流れ> 韓国の高校生が来日する前に、先生のアドバイスをもらいながら、メールでメンバーの自己紹介を行い、相談しながらチーム名や演目(寸劇、歌、ダンス、朗読、クイズなど)を決める。双方の日程の情報交換をし、練習時間の予定表を作成する。出場に必要なエントリーシート(書式)に、韓国語でチーム名・演目・名前・学年・学校名・必要機材(マイク・CDプレイヤー・机・椅子などにチェック)などを記入して主催者に提出する。</p> <p>韓国の高校生が日本に到着したら、あらかじめ自己紹介した後、演目の具体的な内容について話し合い、DVDやインターネットの映像などを参考にして短期間でできるものを考える。練習時間と場所の確認を口頭で行い、予定していた練習日に参加できない生徒がいたら、別の練習日を設けるなどの日程調整を行う。</p> <p>準備する物(セリフ・音楽・衣装・小道具など)や役割の分担(連絡係・小物係・音楽担当・振り付け担当など)を決める。お互いに励ましたり、ほめたりしながらリハーサルをして、クラスメートや学校の先生、ホームステイの家族に見てもらいアドバイスをもらう。</p> <p>本番当日、練習の成果を発表する。発表会の様子をビデオまたはカメラで撮影し、日本語とひとこと程度の韓国語でキャプションをつけて編集したり、ポスターにして記録に残す。発表後、懇親会を行い、お互いの感想を口頭で述べ合う。発表を録画したDVDやポスターをお土産として持って帰ってもらったり、間に合わない場合は後で送って、他の韓国の生徒たちに見てもらって感想をメールで送ってもらう。写真や感想を載せた発表記念のニュースを作成する。</p> <p>ヒント☞ ◆合同チームでの出場ができない場合は、自分たちの活動にアドバイスをもらったり感想を言ってもらうことにとどめる。</p>	
<p><使用教材・教具> メール、音楽CD、DVD、ネット、ビデオカメラ、パソコン</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 안녕하세요? /나는 최지혜라고 해요. /FT 아일랜드 좋아해요. /댄스 잘 해요. /토요일 오후는 아르바이트해요. /일요일은 9시부터 5시까지 시간이 있어요. /체육관에서 연습해요. /어때요? 13일은 안 돼요 14일 오후는 괜찮아요. /친구가 되고 싶어요. /메일 보내 줘요. /일요일에 봐요. /안녕! /재미있어요. /멋있어요. /잘 해요. /아자, 아자, 화이팅!!</p> <p><表現のポイント> —(이)라고 해요. /좋아해요. /잘 해요. 잘 못 해요. /아르바이트해요. /연습해요. /시간이 있어요. 없어요. /돼요. 안 돼요. /괜찮아요. /—고 싶어요. /—가.이 /—는.은 /—에, /—부터, /—까지 /日時、曜日、時間の言い方 /場所</p>	<p>안녕하세요?, 좋아해요, 잘 해요, 못 해요, 아르바이트해요, 연습해요, 시간, 한 시, 두 시, 세 시, 네 시, 다섯 시, 여섯 시, 일곱 시, 여덟 시, 아홉 시, 열 시, 열한 시, 열두 시, 반, ~시에, ~부터 ~까지, ~월, ~일, 월요일, 화요일, 수요일, 목요일, 금요일, 토요일, 일요일, 학교, 체육관, 교실, 운동장, 공원, 집, 있어요. 없어요, 시간, 수업, 학원, 아르바이트, 약속, 볼일, 재미있어요, 멋있어요, 잘 해요, 좋아요, 힘 내요, 기대해요, 인기있어요, 너무.정말, 아자! 화이팅!, 친구가 돼요, 메일 보내 줘요, 기다릴게요, 꼭 봐요, 안녕!</p>	<p><事象> ◆流行している遊びや歌、ダンス、かけ声、励ましのことばなど ◆ひとりひとりの生活習慣 ◆若者文化</p> <p><事象のポイント> ◆日韓で流行っている歌やダンスを調べる。励ましのことばや、気合を入れることば、ほめことばを知り、使ってみる。 ◆自分とほかの人との一日の生活行動や、一週間の生活行動の共通点・相違点に気づき、その背景を理解する。 ◆簡単な懇親会を開くときに、日韓ではどんなものが準備するか(飲食物など)、その共通点・相違点に気づく。 ◆若者文化は国や地域の特徴を保ちながらも、世界的に共通点が多くなってきていることについて知り、その背景について考える。</p>
<p>教室外(人・モノ・情報)との連繫</p>		<p>他教科の内容との連繫</p>
<p>韓国の高校生、「韓国語を楽しもう」大会、応援に来てくれた人</p>		<p>情報、音楽、美術</p>